

# 岐阜県 難聴児支援センターだより

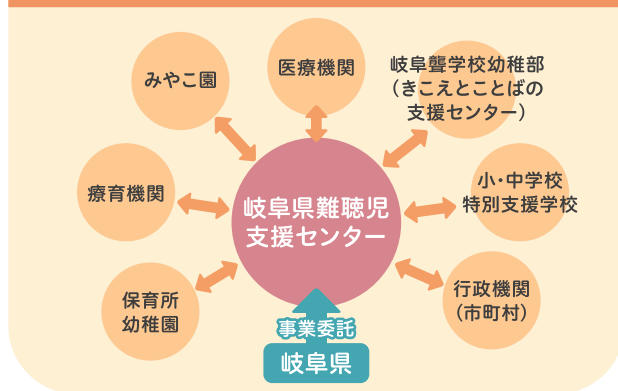
Vol.2

令和4年2月



岐阜県難聴児支援センターはセンター長(岐阜大学医学部附属病院耳鼻咽喉科教授)、副センター長(岐阜大学医学部附属病院耳鼻咽喉科助教)、特別アドバイザー、支援員(言語聴覚士)、岐阜大学医学部附属病院事務員で構成されています。新生児スクリーニング検査の時点から最適な支援に繋がられるよう、関係機関との連携を図っていきます。

## 関係機関とのかかわり 岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨



難聴については、できるだけ早期に気づいて、新生児期から学齢期の各段階において適切な支援を受けることが大切です。

そうすることで、コミュニケーション能力の発達が促進され、自立した社会生活がしやすくなることにつながります。

## ● 特別アドバイザー 青木光広先生のお話 ●

コロナ感染症が蔓延し始めた2年前からマスクをつけた生活が日常となり、マスク越しの会話は難聴の方には難しく、苦勞されているかと思えます。コロナ禍で人と人の交流が少なくなり、不安や悩みを相談する機会が減り、一人で抱え込んでみえる方も多いかと思えます。特に、何らかの障がいをもって生まれたお子さんのご家族が抱えてみえる悩みは少なくないと思えます。そうした中、令和元年から岐阜県で会議を重ねてまいりました難聴児支援センターが令和3年11月1日によりやく開所いたしました。センターでは、先天的あるいは後天的に難聴があるお子さんが、難聴がないお子さんと同じように言語の獲得・教育が得られるように岐阜県全体としてバックアップできる体制を作りました。いままでは、医療・療育・教育・福祉の関係機関が別々に対応しておりましたが、今後は岐阜県難聴児支援センターが中心となり、連携を強めることで一人一人のお子さんが成育するまでの期間を一貫して支援していきます。出生児1000人に1人の割合で先天性難聴が発生します。その割合は昔から変わっておらず、決して少ない数ではありません。年々、補聴器や人工内耳などの医療分野の進歩は目覚ましいものがあります。難聴でお生まれになったお子さんにとって、できるだけ早期に難聴を発見し、療育を開始することでより良い成育環境をつくるのが可能になります。ご不安な点などございましたら、岐阜県難聴児支援センターへご連絡ください。



岐阜県難聴児支援センター  
特別アドバイザー

耳鼻咽喉科 青木 光広先生

# お子さんのきこえに関するファミリーセミナー・出張相談のご案内

**日時** 令和4年3月19日(土) 13:30~15:30

**場所** 高山市役所2階会議室 (高山市花岡町2丁目18番地 電話:0577-32-3333)

**内容** 13:30~ セミナー 「岐阜県難聴児支援センターの役割について」  
岐阜県難聴児支援センター 特別アドバイザー 青木光広先生  
14:00~ 座談会 ●聴覚に障害のあるお子さんに関わる方々と、日ごろの悩みなどについて交流したり一緒に考えたりします。  
●聞こえとことばに関する情報交換や情報提供をします。  
15:00~ 個別相談 ●個別に相談したいことについて難聴児支援センターの支援員(言語聴覚士)が相談に応じます。(希望者のみ)

## 岐阜大学医学部附属病院 難聴児支援センター ご利用案内

**ご利用方法** きこえの相談窓口【月~金 10:00~16:00】

事前にセンターまでご連絡ください。(無料)

メール、FAXでの相談は随時対応させていただきます。(無料)

**「きこえの相談日」は毎週火曜日 10:00~16:00**

言語聴覚士が対応いたします。



## 交通アクセス・病院へのアクセス

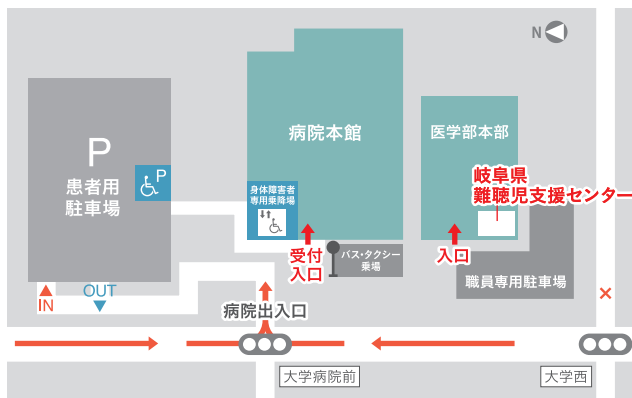
### ●鉄道

【JR】東海道本線「岐阜駅」で下車

【名古屋鉄道】名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

### ●バス

JR岐阜 名鉄岐阜	岐阜大学・病院線 / 約30分	岐阜大学 病院下車 料金 (330円)
	直行便清流ライナー / 約25分	
	岐南町線 / 約40分	



発行：岐阜大学医学部附属病院

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

代表番号 058-230-6000 ダイヤルイン 058-230-7376

<http://hosp.gifu-u.ac.jp/>

E-mail: [hwebmstr@gifu-u.ac.jp](mailto:hwebmstr@gifu-u.ac.jp)